

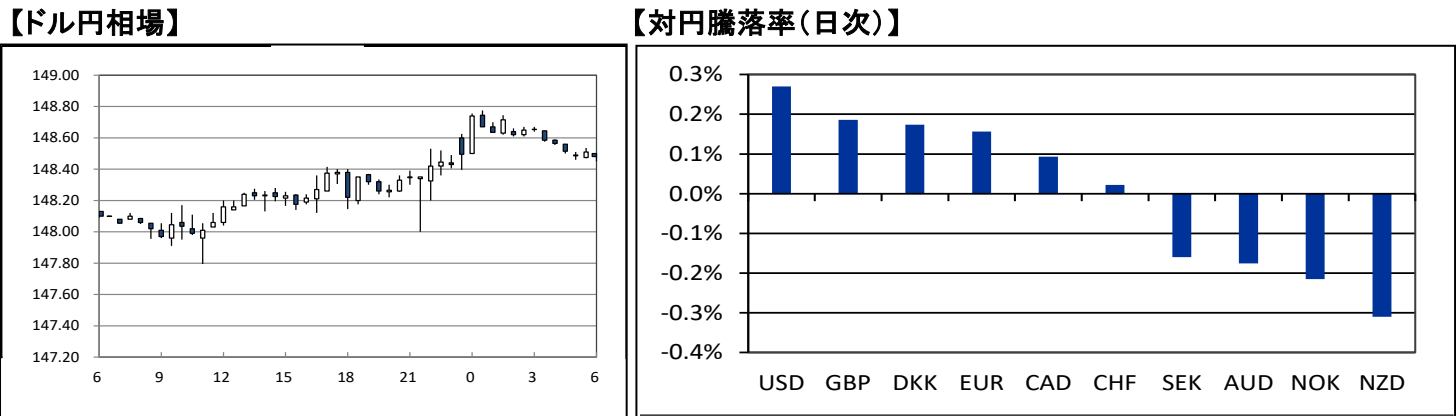
みずほCustomer Desk Report 2025/09/05 号 (As of 2025/09/04)

【昨日の市況概要】				公示仲値	148.07
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.96	1.1660	172.58	1.3442	0.6546
SYD-NY High	148.77	1.1669	173.20	1.3459	0.6550
SYD-NY Low	147.80	1.1630	172.32	1.3417	0.6502
NY 5:00 PM	148.48	1.1653	172.97	1.3438	0.6519
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	45,621.29	350.06	日本2年債	0.8500%	▲0.0100%
NASDAQ	21,707.69	209.96	日本10年債	1.6000%	▲0.0300%
S&P	6,502.08	53.82	米国2年債	3.5888%	▲0.0299%
日経平均	42,580.27	641.38	米国5年債	3.6448%	▲0.0502%
TOPIX	3,080.17	31.28	米国10年債	4.1598%	▲0.0580%
シカゴ日経先物	42,915.00	20.00	独10年債	2.7229%	▲0.0172%
ロンドンFT	9,216.87	38.88	英10年債	4.7180%	▲0.0285%
DAX	23,770.33	175.53	豪10年債	4.3660%	▲0.0670%
ハンセン指数	25,058.51	▲ 284.92	USDJPY 1M Vol	9.84%	▲0.25%
上海総合	3,765.88	▲ 47.68	USDJPY 3M Vol	9.77%	▲0.10%
NY金	3,606.70	▲ 28.80	USDJPY 6M Vol	9.69%	▲0.06%
WTI	63.48	▲ 0.49	USDJPY 1M 25RR	▲0.97%	Yen Call Over
CRB指数	300.35	▲ 2.33	EURJPY 3M Vol	8.03%	▲0.09%
ドルインデックス	98.35	0.20	EURJPY 6M Vol	8.42%	▲0.04%

東京	東京時間のドル円は147.96レベルでオープン。米国経済の重要指標発表を控え、値動きは限定的となった。148円を挟み、もみ合う展開となり、148.18レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は148.18レベルでオープン。序盤はややドルが買い戻され、ドル円は底堅く推移するも、その後は148.30付近をはさんで小動きが続き、結局148.48レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は朝方に発表された予想を下回った米8月ADP雇用統計や、米新規失業保険申請件数が6月以来の高水準を記録した事が嫌気され、148.07まで売られる。しかし、続いて発表された米8月ISM非製造業景況指数が予想を上回った事を背景に148.77まで反発。午後は買い一巡となり、148.50付近まで反落し、148.48レベルでクローズ。一方、ユーロドルは独金利の低下が重しとなり、1.1640付近を挟んだ上値重い推移。午後は1.1650付近まで小幅上昇し、1.1653レベルでクローズ。

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の指標等】						
Date	Time		Event		結果	予想
9月4日	10:30	豪	貿易収支	7月	A\$7310m	A\$4900m
	18:00	欧	小売売上高(前月比)	7月	-0.5%	-0.3%
	21:15	米	ADP雇用統計	8月	54k	68k
	21:30	米	新規失業保険申請件数	30-Aug	237k	230k
	21:30	米	貿易収支	7月	-\$78.3b	-\$77.9b
	22:45	米	サービス業/コンポジットPMI・確報	8月	54.5/54.6	55.4/55.3
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	8月	52	51
【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
9月5日	14:00	日	景気一致指数・速報	7月	114.1	116.7
	15:00	独	製造業受注(前月比)	7月	0.5%	-1.0%
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)	2Q T	0.1%/1.4%	0.1%/1.4%
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	8月	75k	73k
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	8月	0.3%/3.8%	0.3%/3.9%
	21:30	米	失業率	8月	4.3%	4.2%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00－149.00	1.1600－1.1720	172.00-173.50

【マーケット・インプレッション】

昨日は発表された米8月ADP雇用統計は予想対比較調な結果となるも、短期金融市場では米9月の利下げがほぼ織り込まれており、ドル円の反応は限定的となった。一方で、米8月ISM非製造業景況指数は半年ぶりの高水準に上昇したことや、新規受注の指数は約1年ぶりの大幅な伸びが確認されたことで、ドル円はやや買われる展開となった。

本日は東京時間21:30に発表を控えている米8月雇用統計に注目が集まっている。非農業部門雇用者数は75kの増加と見込まれているが、実際に予想値となった場合は、4ヶ月連続で10万人未満の結果となる。米8月雇用統計が大きく下振れすれば、9/16-17の日程で開催予定の米FOMCでは大幅な利下げ観測が見込まれ、一段とドル売りの材料となろう。一方で、予想に反し大幅な増加が確認されれば、ドルの買い戻しが想定され留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。